

第6学年 社会科学学習指導案

1 小単元名 「平和で豊かな暮らしをみざして」(8時間)

2 小単元の目標

我が国の歴史上の主な事象について、日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、戦後の改革、人々の暮らしの変化や世界との関わりを捉え、政治や国民生活の変化や我が国の国際社会において果たしてきた役割を考え、表現することを通して、国民生活が向上し、国際社会の中で、重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、学習してきたことを基に過去の出来事と現在の自分たちの生活や社会との関わりや、歴史から学んだことを現在及び将来どのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 世の中の様子などに着目して、地図や年表その他の資料で調べ、日本国憲法の制定、1964年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、高度経済成長等を理解している。</p> <p>② 資料からわかったことを整理し、効果的にまとめ、戦後、我が国は、民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。</p>	<p>① 日本国憲法の制定、1964年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、国民の生活など、世の中の様子などに着目して問いを見いだし、我が国の復興について考え、表現している。</p> <p>② 日本国憲法の制定、1964年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、国民の生活などを戦時中の様子と比較したり、総合したりして、戦後、我が国の国際社会において果たしてきた役割について考え、適切に表現している。</p>	<p>① 日本国憲法の制定、1964年の東京オリンピック・パラリンピックの開催などについて、予想や学習計画を立てたり見直したりして、学習問題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>② 外国との関係や、国民生活の課題から、これからの我が国のあり方について考えようとしている。</p>

4 単元について

(1) 学習指導要領上の位置付け

本単元は、学習指導要領に第6学年の内容に基づいて設定する。

内容(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(サ) 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。

(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

(2) 教材について

本小単元は、戦後、我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解することをねらいにしている。そこで、戦後の日本のあゆみを、日本国憲法の制定や、戦後の様々な改革、高度経済成長を手掛かりに捉えられるようにする。我が国が、日本国憲法の制定や戦後の様々な改革により平和で民主的な国家として出発したこと、工業の発展や電化製品の普及などにより国民生活が向上したこと、わずか20年で東京オリンピック・パラリンピックを開催できるまで発展したことなどを調べる。また、戦後の発展の様子だけでなく、現在も残る我が国の国内外における様々な課題についても学習する。本小単元の「つながる」段階では、外国との関係や投票率の低さなどの課題を取り上げ、これからの日本の在り方について考えられるようにする。本小単元は、歴史学習の最後の小単元にあたる。本小単元の学習内容だけでなく、既習の政治単元や歴史単元の内容も振り返りながら、これからの日本の在り方を考えられるようにしたい。これからの日本の在り方を考えることは、よりよい社会を考え、未来をつくとうとする態度を養うことにつながる。

5 単元構想

【本小単元につながる児童の学習経験】

前小単元の学習で児童は「多くの犠牲を出し、戦争に敗れた日本は、その後どうなったのだろうか」という関心をもっている。どのような願いがあって、現在の社会の仕組みが作られてきたのかに疑問をもっている児童もいる。また、総合的な学習の時間で「戦争と平和」について取り上げ、「戦争は二度と繰り返してはいけない」という意識をもっている児童が多い。

【研究内容1】 主体的に問いを追究する工夫		子供の主体的な問題解決の側面から			
		過程	想定される「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方	
<p>【問題意識を高める工夫】 戦後の東京と1964年の東京オリンピックのころの東京を比べることで、その間にどのような出来事があったのか問題意識を高める。</p> <p>【見通しをもつ工夫】 既習事項から学習問題に対する予想を出し合ったり、年表を活用したりして学習計画を立てる。問いの主語を全て「日本は」にそろえ、戦後の日本がどのようにして復興していくのかを追究できるようにする。</p> <p>【内容や方法を選択できる工夫】 調べる過程では一人一台端末を活用してグーグルスライドに記入していく。ICTを活用して友達の意見を共有したり、自分で考えたりといった方法で学習の仕方を選択できるようにする。</p> <p>【学びを振り返る工夫】 問いに対する考えを理由とともに振り返り、一枚のワークシートにまとめていく。学習ごとに積み重ねて自分の学び方を振り返ることができるようにする。</p> <p>【協働的に取り組む工夫】 単元を通してICTを活用して友達の意見を共有し、考えを伝え合うようにしていく。</p>	つかむ	<p><学習問題をつかむ問い> 戦後と1964年の東京の様子にはどのような違いがあるだろう。</p>	←	人や建物の 様子の違い に着目して	→
	学習問題	戦後の日本はどのようにして発展したのだ			
	しらべる	<p><しらべる問い> 戦後の日本は、どのような国を目指したのだろう。また、国民生活はどのように変わったのだろう。</p>	←	人や建物の 様子の違い に着目して	→
		<p><しらべる問い> 日本はどのように国際社会に復帰したのだろう。</p>	←	外国との関 わりに着目 して	→
		<p><しらべる問い> 戦後の日本はどのように産業を発展させたのだろう。また、国民生活はどのように変わったのだろう。</p>	←	人々のくら しの様子に 着目して	→
	まとめる	<p><特色や意味を考える問い> 戦後の日本はどのようにして復興したのだろう。</p>	←	戦後改革と 国民生活の 向上、国際 社会におけ る日本の役 割を関連付 けて考えて	→
つながる	<p><これからを考える問い> 現在の日本には、どのような課題があるのだろう。 これからの日本は、どのようなことを大切にしていけばいいだろう。</p>	←	人々のくら しの様子や 外国との関 わりに着目 して	→	
【研究内容3】子供の学びを確かにする評価の工夫		子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価			
		つかむ段階で立てている学習計画を基に、学んできたことを一人一台端末を活用して調べたことをまとめたり、調べた内容を振り返ったりして自分の考えの変容を捉えられるようにする。			

単元で目指す児童像

戦後日本は、日本国憲法をつくり、民主的な国家として出発した。政治の仕組みが変わって女性が選挙に参加したり、外国との関係が変化したりした。また、産業が発展し、国民生活も向上した。しかし、現在に残されている課題もある。本小単元では歴史から学んだことを生かして国家及び社会の発展を考え、これからの日本について表現していく。

社会生活の確かな理解の側面から

見方・考え方を働かせる資料	子供が獲得できるようにしたい知識
・焼け野原の新宿の写真 ・終戦直後と1964年の写真	終戦直後から1964年の東京オリンピックが開催されるまでに八王子駅の周辺の様子が変わったり、国立競技場ができたりと日本は大きく発展した。
・戦後の日本の主な出来事の年表	戦後、日本では政治の仕組みが変わったり、外国との関係が変化したりといったことが起こり、産業の発展や生活の変化が起こった。

ろう。

・戦後の改革 ・日本国憲法の写真や文章資料	戦後の日本では日本国憲法が制定され、様々な戦後改革が行われた。国民の権利が保障される民主的な国を目指し、国民も選挙に参加したり、教育を受けたりできるようになった。
・国際連合に加盟 ・東京オリンピックの資料	日本はサンフランシスコ平和条約を結び、国際連合に加盟したことで国際社会に復帰した。1964年にはオリンピックを開催できるようになった。
・テレビの普及率の推移 ・新幹線等の開通の資料	人々の努力によって、工業が急速に発展し、世界有数の工業国になった。また、人々の暮らしも向上していったが、公害の問題も起こり、今でも苦しんでいる人がいる。

戦後日本は、日本国憲法をつくり、民主的な国家として出発した。国際連合に加盟して、オリンピックが開催される国になり、国際社会の中でも重要な役割を果たすようになった。国民も選挙に参加し、義務教育で学び、懸命に働いて経済発展を支え暮らしを立て直してきた。国民の努力によって復興することができた。

・日本と外国との関係についての資料 ・投票率の推移、女性議員の割合	現在の日本には、外国との関係において様々な問題が残っており、それらを解決する必要がある。また、やっと国民が主権をもてたので、自分たちの国をこれからも良くしていこうと気持ちをもつことが大切だ。
--------------------------------------	---

指導と評価の一体化を図る（教師が指導に生かす）評価

指導後、児童が記述したグーグルスライドを基に、児童が学習のねらいに到達できているかを評価し、個別に支援したり、記述を価値付けしたりする。学習が理解できていない児童には個別指導を行い、次に生かしていく。

【研究内容2】

社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

【位置や空間的な広がりから見る】

- ・戦後の日本の国際復帰に着目するため、日本がサンフランシスコ平和条約を結び、国際連合に加盟した資料や東京オリンピックの参加国一覧を地図と合わせて読み取れるようにする。
- ・外国との間に解決すべき多くの課題が残っていることに着目するため、地図も活用しながら韓国、北朝鮮・中国や北方領土、沖縄のアメリカ軍基地についての文章資料を提示する。

【時期や時間の経過から見る】

- ・戦後の日本の発展に着目するために、終戦後の日本と1964年の日本の街の様子を比較させる。
- ・年表を用いて、戦後から1964年までの間に起こった日本の歩みを調べられるようにする。

【事象や人々の相互関係から見る】

- ・戦後の国民生活の向上に着目するため、日本国憲法や学校・教育制度、普通選挙などについて調べられるようにする。
- ・戦後の国民生活の向上に着目するため、テレビの普及、新幹線の開通、産業の発展、及び公害問題が起こったことについて調べられるようにする。

【比較・分類・関連・総合して考える】

- ・ノートやスライドの記述から日本国憲法の制定やオリンピックの開催、産業の発展などを関連付けたり、総合したりしてこの頃の様子を考えて記述できるようにする。

6 小単元の指導計画（全8時間）

過程	本時のねらい (数字は時数)	主な学習活動 (○) 問い (◆) 予想される児童の反応 (・)	◎資料 【評価】 □教師の手だて
つかむ	戦後の東京と1964年頃の東京の様子の変化に関心を持ち、学習問題をつくる。①	<p>○戦争直後の国民の願いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう戦争をしてほしくない。 ・平和な暮らしをしたい。 <p>◆戦後と1964年の東京の様子にはどのような違いがあるだろう。</p> <p>○終戦直後の東京と1964年の東京オリンピックが開催された頃の東京の写真を比較し、疑問を出し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにして日本は復興したのか。 ・国民生活はどのように変わったのか。 ・なぜオリンピックが開催できたのか。 	<p>◎焼け野原の新宿の写真</p> <p>◎「終戦直後と1964年頃の八王子駅周辺や国立競技場の写真」</p> <p>□人や建物の様子の違いに着目することで、戦後の日本がどのように発展したか関心をもてるようにする。</p> <p>【思判表①】タブレットの記述から「戦後の日本の復興に着目し問いを見いだしているか」を評価する。</p>
	学習問題について予想し、学習計画をたてる。②	<p>◆何を調べれば学習問題を解決できるのだろう。</p> <p>○学習問題に対する予想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法を変えたと思う。 ・外国との関わり方が、変わったと思う。 ・新しい産業を発展させたと思う。 <p>○学習問題に対する予想や年表を基に学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治の仕組みの変化について調べる ・外国との関係の変化について調べる。 ・産業の発展や生活の変化について調べる。 	<p>□スライドを使用して、児童の予想したことや考えたことを全体で共有できるようにする。</p> <p>◎戦後の日本の主な出来事の年表</p> <p>【態度①】スライドの記述から「予想や学習計画を立て、学習の見通しをもとうとしているか」を評価する。</p>
調べる	日本国憲法の制定や戦後の改革について調べ、平和で民主的な国家として出発したことを理解する。③	<p>◆戦後の日本は、どのような国を目指したのだろう。また、国民の役割はどのように変わったのだろう。</p> <p>○戦後の日本が行った改革について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法を制定した ・学校・教育制度を変えた。 ・戦後の様々な改革を行った。 <p>○戦後の改革についてグループで調べた内容を交流する。</p> <p>○戦後改革によって、国民生活がどのように変化したかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙権をもてる人が拡大したことで「投票」を通じて政治へ参加する人が増えた。 ・憲法がかわったことで、自由に様々なことを選べるようになった。 <p>○本時の問いに対するまとめを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後の日本は、国民一人一人の権利が保障された民主的な国を目指した。国民も、選挙に参加したり、教育を受けたりできるようになった。 	<p>◎戦後の改革や日本国憲法についての写真や文章資料</p> <p>□戦後の改革を三つのテーマに分けてグループで調べる。(日本国憲法、学校・教育制度、戦後の様々な改革)</p> <p>□政治単元の日本国憲法の学習内容を振り返ることで、日本が民主的な国を目指したことに気付けるようにする。</p> <p>【知技①】スライドの記述から「資料を活用して戦後の日本の改革について読み取り、我が国が平和で民主的な国家を目指したことを理解しているか」を評価する。</p> <p>□スライドを使用して、児童がまとめたことを全体で共有できるようにする。</p>

つづくる	<p>国際連合への加盟やサンフランシスコ平和条約について調べ、日本が国際社会に復帰したことを理解する。④</p>	<p>◆日本はどのようにして国際社会に復帰したのだろう。</p> <p>○日本が独立を回復させた経緯や国際連合への加盟について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンフランシスコ平和条約を結んだ。 ・国際連合に加盟した。 ・アメリカと安全保障条約を結んだ。 ・独立後も、日本にアメリカ軍がとどまった。 <p>○東京オリンピック・パラリンピックが開催された経緯について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和条約を結び、国際連合へ加入して、国際社会からの信頼を回復した。 <p>○当時の国民がオリンピック開催をどのように思っていたかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和な国になって嬉しい。 ・外国から認められて嬉しい。 <p>○本時の問いに対するまとめを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本はサンフランシスコ平和条約を結び、国際連合に加盟したことで、国際社会に復帰した。1964年にはオリンピックを開催できるようになった。 	<p>◎サンフランシスコ平和条約や国際連合に加盟した写真や資料</p> <p>◎1964年の東京オリンピックについての資料</p> <p>◎1964年の東京オリンピックに参加した国の一覧表</p> <p>◎1964年の東京オリンピックを知る方のお話</p> <p>【知技①】スライドの記述から「資料を活用して戦後の日本の外国との関わりについて読み取り、我が国が国際社会に復帰したことを理解しているか」を評価する。</p> <p>□スライドを使用して、児童がまとめたことを全体で共有できるようにする</p>
<p>工業の発展、電化製品の普及などを調べ、国民生活が向上したことを理解する。⑤</p>	<p>◆戦後の日本はどのように産業を発展させたのだろう。また、国民生活はどのように変わったのだろう。</p> <p>○戦後の産業の発展や国民生活の変化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方から都市の工場に働きに出た。 ・中学校や高校を卒業してすぐに就職した。 ・国民の努力で日本の工業が大きく発展した。 ・新幹線や高速道路ができた。 ・経済が発展していく中で公害が発生した。 <p>○産業の発展や国民生活の変化を当時の国民がどのように思っていたかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと豊かな生活をおくりたい。 ・公害の問題もあるが、産業の発展を優先させたい。 <p>○本時の問いに対するまとめを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の努力によって、工業が急速に発展し、世界有数の工業国になった。また、人々の暮らしも向上していったが、公害の問題も起こり、今でも苦しんでいる人がいる。 	<p>◎テレビの普及率の推移</p> <p>◎新幹線等の開通の写真や資料</p> <p>◎産業の発展に伴う公害問題についての文章資料</p> <p>□国民の懸命な努力によって、産業や経済が発展したことを捉えられるようにする。</p> <p>□産業の発展に伴い公害問題も起こったことを捉えられるようにする。</p> <p>【知技①】スライドの記述から「資料を活用して戦後の日本の産業の発展について読み取り、我が国の産業が発展し、国民生活が向上したことを理解しているか」を評価する。</p> <p>□スライドを使用して、児童がまとめたことを全体で共有できるようにする</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる</p>	<p>戦後の改革や国民生活の向上、国際社会における日本の役割などについてまとめ、学習を通して考えたことを発表する。⑥</p>	<p>◆戦後の日本はどのようにして発展したのだろうか。</p> <p>○学習問題に対する考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後日本は、日本国憲法をつくり、民主的な国家として出発した。そして、国際連合に加盟して、オリンピックが開催される国になり、国際社会の中で重要な役割を果たすようになった。 <p>○振り返りを文章にまとめる。</p> <p>○日本にはまだ残っている課題があるのか考え、話し合う。</p>	<p>□既習のスライドやノートを振り返ることで、学習した内容を関連付けて考えられるようにする。</p> <p>【思判表②】ノートの記事から「日本国憲法の制定やオリンピックの開催、産業の発展などを関連づけたり総合したりして、この頃の様子を考え、適切に表現しているか」を評価する。</p> <p>□スライドを使用して、児童がまとめたことを全体で共有できるようにする。</p> <p>【知技②】スライドの記事から「戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解しているか」評価する。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">つながる</p>	<p>現在の日本が抱える外国との問題について調べ、今後解決していくべき課題について関心をもつ。⑦</p>	<p>◆現在の日本は、外国との関係にどのような課題があるのだろうか。</p> <p>○現在の日本に残る課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮とは、まだ国交が開かれていない。 ・ロシアとの北方領土問題がある。 ・中国との領土をめぐる課題がある。 ・米軍基地と県民の生活問題がある。 <p>○日本は、今後どのように諸外国と関わっていくべきか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の一員として、友好や信頼関係を築いていくために努力していくことが大切である。 ・日本は韓国や中国と話し合いを通して、お互いの考えを理解していく必要がある。 ・沖縄の人たちのことを考えていく必要がある。 <p>○本時の問いに対するまとめを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本は、中国、韓国との関係やロシアと領土の問題が残っている。これらの問題を解決していく必要がある。 	<p>◎韓国・北朝鮮と日本との関係についての文章資料</p> <p>◎中国と日本との関係についての文章資料</p> <p>◎北方領土についての文章資料</p> <p>◎沖縄のアメリカ軍基地についての文章資料</p> <p>□学習問題や学習計画を振り返り、「安全保障」「領土」「環境」など、日本には、解決すべき多くの課題が残っていることに気付くことで、これから日本が諸外国とどのように関わっていくべきか関心をもてるようにする。</p> <p>【態度②】スライドの記事から「日本と外国との関係において、我が国が今後解決していくべき課題が残っていることに関心をもっているか」評価する。</p>

【本時】 つながる	現在の日本が国内で抱える問題について調べ、今後解決していきべき課題が残っていることを理解する。⑧	<p>◆現在の日本には、どのような課題があるのだろうか。</p> <p>○戦後の日本の参議院議員選挙の投票率の推移や、参議院議員の女性の割合の推移について調べる。</p> <p>・20代や30代など若い世代の人ほど投票率が低い。</p> <p>・国会議員における女性議員の割合は増えてはきているが、男性議員の割合の方が大きい。</p> <p>○本時の問いに対するまとめを書く。</p> <p>○これからの社会の在り方について考えよう。</p>	<p>【態度②】スライド・ワークシートの記述から「これからの我が国の在り方について考えようとしているか」を評価する。</p> <p>□スライドを使用して、児童がまとめたことや考えたことを全体で共有できるようにする</p>
--------------	--	---	--

7 本時の学習（8/8時）

6年2組 八王子市立元八王子小学校 教諭 田口 伸秀

(1) 本時のねらい

- ・日本の課題について把握して、これからの我が国の在り方について考えられるようにする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	<p>○前時の学習を振り返り、本時の学習への見通しをもつ。</p> <p>・北朝鮮とは国交、中国やロシアとの領土をめぐる課題、米軍基地などの課題が残っている。</p> <p>・外国との課題以外に、どんな課題があるのか気になった。</p>	
しらべる	<p>○参議院議員選挙の投票率の推移や、参議院議員の女性の割合の推移について調べる。</p> <p>・参議院議員の投票率は1950年頃より今の方が低くなっている。</p> <p>・20代や30代など若い世代の投票率が低く、投票率は下がってきている。</p> <p>・国会議員における女性議員の割合は増えてはきているが、まだまだ男性議員の割合の方が大きい。</p> <p>○投票率の低下が、国民生活や政治の進め方にどのような影響を与えるのか考え、話し合う。</p> <p>・若い人の投票率が低いことで、年配者のことを考えた政策が多くなる。</p> <p>・若い人が選挙に行かないと、その人たちの考えが伝わらず、若者の課題が解決されない。</p> <p>・男女平等で女性が暮らしやすい社会にならない。</p> <p>・一部の人の意見で政治が行われてしまい、みんなのための政治が行われない心配がある。</p>	<p>◎参議院議員通常選挙投票率の推移</p> <p>◎戦後、初めての選挙で投票する人々の写真</p> <p>□本小単元の学習と繋げて現在の課題を捉えられるようにする。</p> <p>◎参議院議員通常選挙年代別の推移</p> <p>◎参議院議員通常選挙における女性議員の候補者、当選者の割合の推移</p> <p>◎初めての女性国会議員の写真</p> <p>□グループごとに話し合いながらグループスライドを共同編集することで、違うグループの考えを共有したり、自分たちのグループの考えを修正したりできるようにする。</p>

まとめる	<p>○これからの日本の在り方について自分の意見を文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票に行くことが大切。それは、国民がより良い社会をつくる責任があるから。 ・やっと国民が主権をもてたので、自分たちの国をこれからも良くしていこうという気持ちをもつことが大切。 	<p>【態度②】 スライド・ワークシートの記述から「これからの我が国の在り方について考えようとしているか」を評価する。</p>
------	---	--

<板書>

(本時の問い)
現在の日本には、どのような課題があるのだろうか。

資料 A

資料 B

資料 C

写真 D

写真 E

投票率が低い 若者の投票率が低い 女性議員の割合が低い

この状況が続くと日本はどうなる

- ・一部の人のための政治
- ・政策が不公平になる。
- ・歴史と同じような繰り返しをする
- ・不平等が続く

まとめ：
これからの日本は、何を大切にすべきか。